

尾張旭市制50周年記念シンポジウム

あさひの歩みから未来へ

住みやすい、働きやすい
環境とインフラ(基盤)の構築

2022年2月12日
株式会社フジプロパティ
愛知県森林公園管理事業部長
名古屋大学名誉教授 松本哲男

略歴

- 昭和22(1947)年3月1日生
- 昭和49(1974)年3月 名古屋大学大学院農学研究科博士課程満了(農学博士)
- 昭和53(1978)年 国際半乾燥熱帯作物研究所(ICRISATインド) 研究員
- 昭和55(1980)年10月 ミズリー 大学農学部研究員
- 昭和59(1984)年10月 ダウ・ケミカル日本株式会社入社
- 平成11(1999)年2月 ダウケミカル(米国) アジア・太平洋研究開発部長・グローバル研究開発アドバイザー
- 平成11(1999)年10月 名古屋大学農学国際教育協力研究センター教授(2010年3月名誉教授、12年3月まで特任教授)
- 平成22(2010)年6月 森林公園ゴルフ場運営株式会社 取締役(15年6月まで)
- 平成23(2011)年4月 株式会社ウッドフレンズ森林公園事業部長括責任者(現在に至る)

尾張旭市SWOT分析

S(強み)

- ・名古屋市中心へアクセス良好
- ・公園緑地恵まれた自然環境
- ・健康への取り組み充実
- ・住みやすい居住環境

W(弱み)

- ・三郷、尾張旭駅周辺の渋滞
- ・第1、2次産業の衰退、停滞
- ・自然環境の減少
- ・他の近郊都市に劣る知名度

O(機会)

- ・政府によるIT産業振興
- ・コンパクトシティ推進
- ・矢田川周辺以外、比較的強固な地層(洪積世)

T(脅威)

- ・人口減少による人の奪い合い
- ・産業構造・情報通信業の停滞
- ・温暖化による災害多発

快適な居住環境の構築

人口減少を前提にしたまちづくりを

・人口将来予想

82,637人(2020)

66,332人 (2060, -20%)

市の維持目標

79,000人

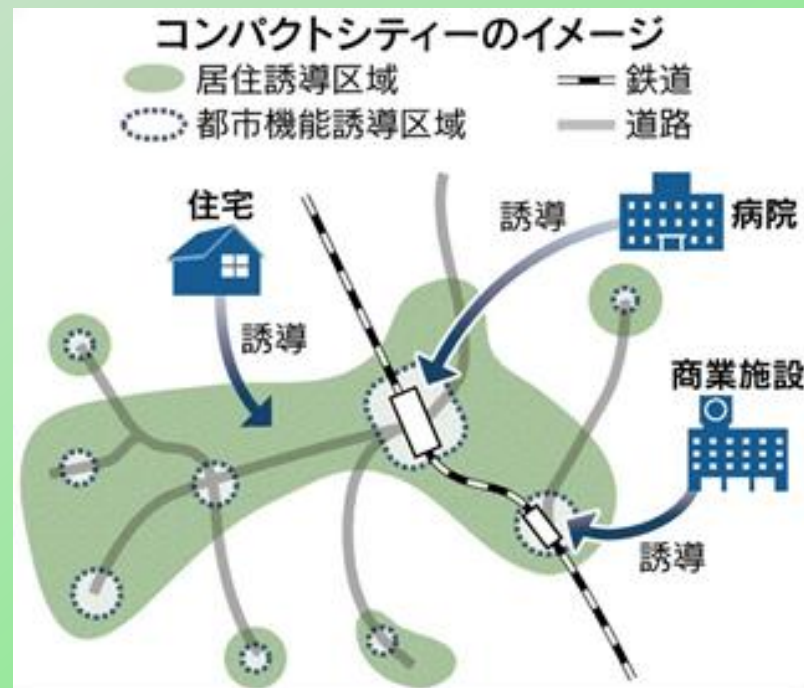
・コンパクトシティ構想の導入

駅周辺 マンションなど集合住宅

近郊 一戸建て住宅

駅前 ロータリー・駐車場

アサピー一号を近郊と瀬戸線4駅に直結(魚の骨路線)



働きやすい環境の構築

デジタル田園都市国家構想(2021.12.28政府発表)
まさに尾張旭市のための構想

- ・未活用の土地の整備

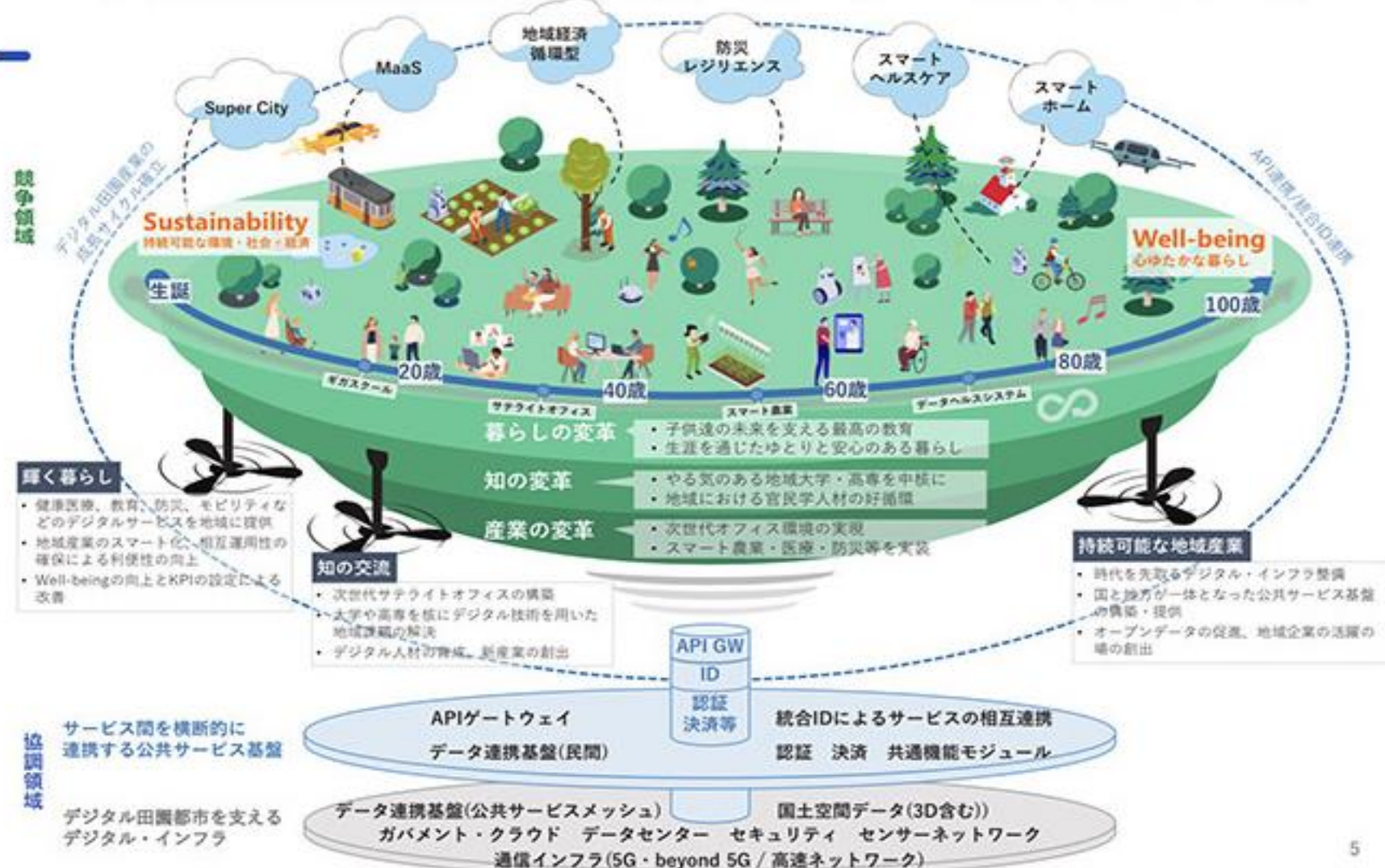
看護学校跡地、消防学校跡地など

- ・企業、個人の誘致

- ・大学講座開設による人材育成

名古屋産業大学、中部大学、県立芸術大学、金城学院大学

デジタル田園都市国家構想の取組イメージ（デジタルからのアプローチ）



「デジタル田園都市国家構想の取り組みイメージ」

(2021年11月 デジタル田園都市国家構想実現会議 配付資料より)

健康都市の推進

- ・「健康の駅」の設置

主な地区に手軽な運動施設

VS

一カ所に集約した施設

- ・手ごろな健康診断機器の設置

主要公共施設に併用

- ・健康フェスタの開催

野外ヨガ、市民スポーツ大会

- ・森林公園と連携して健康イベントの開催





森林公園は皆様の健康増進のお役
に立ちたく
ご来園を待っております。